千葉市食育推進計画　取り組み一覧表

【評価基準】a：計画通りに取り組んだ　b：実施し、ほぼ計画通りに取り組んだ　c：計画通りに取り組めなかった　d：事業終了

No	基本施策	市の取り組み	関連事業	内容	対象	所管	22年度実績	23年度実績	23年度評価	24年度実施予定
1	1　家庭・地域における食育の推進	（1）楽しく食べることの推進・望ましい食習慣と知識の習得	食事バランスガイドの活用促進	千葉市版食事バランスガイドを作成し、バランスの良い食べ方の普及啓発を行います。	市民	健康支援課 区健康課	食事バランスガイド(幼児版)を作成。健康教育、地区伝達活動講習会などでは、厚生労働省と農林水産省策定の食事バランスガイドを利用しての普及を実施。	健康教育、地区伝達活動講習会などで、食事バランスガイド(厚生労働省と農林水産省策定)を利用して、普及啓発を実施。 きやっせ物産展2012(平成24年3月25日)において、啓発活動実施。参加者:350人	a	健康教育、地区伝達活動講習会などで、食事バランスガイドを利用してバランスのよい食べ方を普及啓発する。
2			「家庭でクッキング」運動の推進	家族が食卓を囲み食事ができるようにホットプレートなどを利用した献立をホームページ等で紹介します。	市民	健康支援課 区健康課	子どもから高齢者まで、手軽に調理ができるように「電子レンジクッキング」のリーフレットを作成し、各種教室等で紹介した。	子どもから高齢者まで、手軽に調理ができるように「電子レンジクッキング」のリーフレットを作成し、各種教室等で紹介した。	b	子どもから高齢者まで、手軽に調理ができるような献立を各種教室で紹介する
3			朝ごはんレシピカードの作成	身近な材料を使い短時間で作れる朝ごはんのレシピを作成し、子育て世代を中心に朝ごはんの大切さの理解を深めます。	市民	健康支援課 区健康課	朝ごはんレシピのカードを作成し、地区伝達活動等で朝ごはんの大切さを周知した。	朝ごはんレシピのカードを作成し、地区伝達活動等で朝ごはんの大切さを周知した。	a	地区伝達活動等においてレシピカードを利用して、朝ごはんの大切さを周知する。
4			若年者を対象とした食育の推進	大学等と連携を図り、学生食堂を活用した情報提供を実施するなど、若年者をターゲットとした食育活動を展開します。	高校生 大学生等	健康支援課 区健康課		大学と連携を図り、中央保健福祉センターにおいて、淑徳大学生を対象とした料理教室を実施した。 実施日：平成23年12月13日(火)　参加者数：8人	b	千葉県立保健医療大学との連携により、体験ゼミナールを実施。
5			ワークライフバランスの推進	「八都県市仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）推進キャンペーン」などを実施し、働き方を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進します。	市民	保育支援課	「八都県市仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）推進キャンペーン」実施期間終了。引き続き、九都県市でワークライフバランスの推進に取り組み,家族で食卓を囲む習慣づくりを促進していきます。	九都県市でワークライフバランスの推進に取り組み,家族で食卓を囲む習慣づくりを促進した。	b	引き続き、九都県市でワークライフバランスの推進に取り組み、家族で食卓を囲む習慣づくりを促進していく。
						男女共同参画課	●ワークライフバランスセミナーを実施した。 実施日：平成22年11月8日（月） 参加者数：68名 ●全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日：平成22年8月11日（水）	● ワークライフバランスセミナーを実施した。 実施日：平成23年7月8日（金） 参加者数：47名 ●全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日：平成23年8月3日（水）	a	●ワークライフバランスセミナーを実施。 実施日：平成24年11月5日（月） ●全庁一斉定時退庁を実施。 実施日：平成24年8月1日（水）
6			子どもルームの指導員等への普及啓発	子どもルームを運営する千葉市社会福祉協議会に対し、子どもの望ましい食生活についての情報提供を行います。	千葉市 社会福祉 協議会	健全育成課	千葉市主催の研修会「食物アレルギーについて」を実施 実施日：平成22年9月7日 参加者数：581人（指導員565人コーディネーター16人）	該当なし		なし
7			思春期保健対策事業	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施します。	思春期の子どもと保護者等	健康支援課 区健康課	思春期の子ども及びその親に対して思春期の心とからだの発達との特徴、対応について、知識の普及及び相談を行った。 会場数：20回　参加者：1,455人	思春期の子ども及びその親に対して思春期の心とからだの発達との特徴、対応について、知識の普及及び相談を行った。 会場数：18回　参加者：1,424人	a	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、食べること、自分の身体を大切に学ぶ教室を実施。
8			「青少年の日」「家庭・地域の日」の推進	「家庭・地域の日」の取り組みの一環として、給食の代わりにお弁当を持参してもらう「お弁当の日」を設けます。	小・中学生 特別支援学校 保護者	保健体育課	小学校120校・中学校57校及び特別支援学校2校において前・後期各1回の2回実施した。	小学校117校・中学校57校及び特別支援学校2校において前・後期 各1回の2回実施した。	a	市内全小中特別支援学校において、年2回実施する。
				毎年9月第3土曜日を「青少年の日」毎月第3土曜日及び翌日曜日を、「家庭・地域の日」とし、青少年のコミュニケーション力を高めるため、青少年と家庭・地域のつながりを深める機会の充実を図ります。	市民	健全育成課	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターで開催 実施日：平成22年9月18日 参加者数：3,167人 「青少年の日フェスタ」にて小学5、6年生対象のお弁当づくり教室を実施（事前申込・参加者26人）	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターで開催 実施日：平成23年9月17日 参加者数：4,504人 「青少年の日フェスタ」にて小学5年生～中学生対象のお弁当づくり教室を実施（事前申込・参加者21人）	a	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センター及び子ども交流館にて開催 実施日：平成24年9月15日 参加者数：4,000人（見込） ①「お弁当づくり教室」 ・対象：小学4年生～中学生 ・事前申込、参加予定者24人 ②「千葉県産の食材を使ったお菓子作り」 ・対象：小学4年生～高校生 ・事前申込、参加予定者24人
9		（2）妊産婦と乳幼児等への食育の推進	離乳食教室	生後6～8か月児の保護者を対象に、乳児の咀嚼力を獲得するため、発達に応じた調理形態や食品の選択等について、管理栄養士が支援します。	乳児の 保護者	健康支援課 区健康課	離乳食について、講話及びデモンストレーション、試食を行う教室を実施した。 会場数：51回　参加者数：1,866人	離乳食について、講話及びデモンストレーション、試食を行う教室を実施した。 会場数：51回　参加者数：1,961人	a	生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施 会場数：51回
10			母親＆父親学級	保健（福祉）センターにおいて、初妊婦とその夫に対し、「妊産婦のための食生活指針」に基づき、妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導します。	妊婦と その夫	健康支援課 区健康課	1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を行った。 会場数：62回　参加者数：1,599人	1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を行った。 会場数：61回　参加者数：1,627人	a	母親＆父親学級の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について講話等を行う。
11			妊産婦・新生児訪問指導	訪問指導員が、訪問を希望する妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に係る様々な相談に応じます。	妊産婦 乳幼児の 保護者	健康支援課 区健康課	訪問指導員が妊産婦・新生児の家庭を訪問し相談を実施した。 妊婦：4人　産婦：2,312人　新生児：2,316人	訪問指導員が妊産婦・新生児の家庭を訪問し相談を実施した。 妊婦：1人　産婦：2,567人　新生児：2,538人	a	訪問指導員が妊産婦・新生児の家庭を訪問し相談を実施。
12			乳幼児健康診査	4か月、1歳6か月及び3歳児健診において、親と子の望ましい食習慣の啓発や栄養相談等を実施します。	乳幼児 保護者	健康支援課 区健康課	乳幼児健診において、集団指導及び個別相談を実施した。 4か月児健診　会場数：160会場　集団啓発　16,232人　栄養相談　2,303人 1.6歳児健診　会場数：152会場　集団啓発　16,270人　栄養相談　1,248人 3歳児健診　会場数：152会場　栄養相談687人	乳幼児健診において、集団指導及び個別相談を実施した。 4か月児健診　会場数：160会場　集団啓発　15,916人　栄養相談　2,317人 1.6歳児健診　会場数：152会場　集団啓発　15,826人　栄養相談　1,331人 3歳児健診　会場数：152会場　栄養相談780人	a	4か月、1歳6か月及び3歳児健診において、親と子の望ましい食習慣の啓発や栄養相談等を実施。
13			小児肥満相談事業	3歳児健診からスクリーニングされた肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動などの相談を実施します。	乳幼児 保護者	健康支援課 区健康課	3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施した。 会場数：304会場　個別栄養相談　370人	3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施した。 会場数：304会場　個別栄養相談　405人	b	3歳児健診当日及び後日に肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動などの相談を実施。
14			子育て中の保護者への情報提供・相談	子育て支援館、リラックス館、地域子育て支援センター、保育所（園）、保健（福祉）センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。	乳幼児 保護者	健康支援課 区健康課	保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、情報提供や相談を実施した。 食に関する電話相談　439件　所内相談448件	保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、情報提供や相談を実施した。 食に関する電話相談　350件　所内相談　330件	a	保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに情報提供や相談を実施。
						保育運営課	地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講座等を実施した。 会場数：31回	地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講座等を実施した。 会場数：35回	b	引き続き、地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講義等を実施していく。
						保育支援課			a	
15		（3）健康づくりのための食育の推進	栄養相談	食生活の見直し、調理方法や工夫の仕方、食事療法など、保健（福祉）センター等の管理栄養士が個別に相談に応じます。	市民	健康支援課 区健康課	保健福祉センターの管理栄養士が個別の相談を実施した。 栄養相談：248件　所内相談：29件　電話相談：53件	保健福祉センターの管理栄養士が個別の相談を実施した。 栄養相談：242件　所内相談：66件　電話相談：66件	a	食生活の見直し、調理方法や工夫の仕方、食事療法など、保健福祉センターの管理栄養士が個別の相談を実施。
16			健康づくり実践教室 （ヘルスサポーター21事業）	生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する講習会を開催し、修了者を「ヘルスサポーター（健康づくり支援者）」として認定します。	中学生以上の市民	健康支援課 区健康課	ヘルスサポーターを育成し、「新世紀ちば健康プラン」の推進を図った。 会場数：116回 参加者数：984人（指導延べ人数1,451人）	ヘルスサポーターを育成し、「新世紀ちば健康プラン」の推進を図った。 会場数：109回 参加者:798人（指導延べ人数1,368人）	a	生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する「健康づくり実践教室」を実施。

千葉市食育推進計画　取り組み一覧表

【評価基準】a：計画通りに取り組んだ　b：実施し、ほぼ計画通りに取り組んだ　c：計画通りに取り組めなかった　d：事業終了

No	基本施策	市の取り組み	関連事業	内容	対象	所管	22年度実績	23年度実績	23年度評価	24年度実施予定
17	1 家庭・地域における食育の推進	（3）健康づくりのための食育の推進	健康教育 健康相談	生活習慣の改善を目的に、保健師や管理栄養士等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別の相談に応じます。	市民	健康支援課 区健康課	糖尿病予防や骨粗しょう症予防等病態別の健康教育を実施。 会場数：159回　参加者延べ人数：4,237人 生活習慣病予防などの一般健康教育を実施。 会場数：215回　参加者延べ人数：5,592人 健康相談（個別相談）を実施。 会場数：6,613回　参加者延べ人数：20,428人	糖尿病予防や骨粗しょう症予防等病態別の健康教育を実施。 会場数：140回　参加者延べ人数：5,810人 生活習慣病予防などの一般健康教育を実施。 会場数：148回　参加者延べ人数：3,829人 健康相談（個別相談）を実施。 会場数：3,400回　参加者延べ人数：13,711人	a	生活習慣の改善を目的に、保健師や管理栄養士等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別の相談を実施。
18			元気アップ教室 （介護予防教室） 元気アップ相談 （介護予防相談）	高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るため、一人ひとりにあったプログラム提供するとともに、日常生活における実践を支援します。	高齢者	健康支援課 区健康課	特定高齢者を対象に総合介護予防教室を実施した。 【直営】会場数：232回　延べ参加者数：783人 特定高齢者を対象に介護予防相談を実施した。 会場数：67会場　延べ参加者数：9人（低栄養）	二次予防事業対象者に元気アップ教室を実施した。 会場数：236回　参加者延べ数：2,393人 二次予防事業対象者に元気アップ相談を実施した。 会場数:120回　参加者延べ人数:6人（低栄養）	a	高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るため、二次予防事業対象者に元気アップ教室や元気アップ相談を実施。
			ｼﾆｱ健康づくり教室 （介護予防教室） ｼﾆｱ健康づくり相談 （介護予防相談）	65歳以上の方を対象に、栄養や運動・口腔に関する教室や相談を実施します。	高齢者		地域の自治会や老人クラブ等を対象に、一般介護予防教室を実施した。 会場数：218回　延べ参加者数：2,675人 個別の栄養相談を実施した。 会場数：129回　延べ参加者数：445人	地域の自治会や老人クラブ等を対象に、シニア健康づくり教室を実施した。 会場数：240回　延べ参加者数：3,285人 個別の栄養相談を実施した。 会場数：120回　延べ参加者数：392人	a	65歳以上の方を対象に地域の自治会や老人クラブ等を対象に、シニア健康づくり教室や栄養相談を実施。
19			食の自立支援事業 （配食サービス）	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等で自炊することが困難な方に対し、食関連サービスの利用調整及び配食サービスの実施により、利用者の食の自立を支援します。	ひとり暮らし高齢者等	高齢福祉課	介護認定者及び特定高齢者等を対象に配食サービスを実施した。 利用者数 491人 延配食数 81,868食	介護認定者及び二次予防事業対象者等を対象に配食サービスを実施した。 利用者数 437人 延配食数 71,464食	a	介護認定者等を対象に配食サービスを実施する。
20		（4）よく噛み、よく味わう習慣の形成	ヘルシーカムカムの開催	「歯の衛生週間」に歯科医師会と共催でイベント（ヘルシーカムカム）を開催し、噛むことの大切さや口腔の衛生等の普及啓発を行い、市民の歯科保健意識の向上を図ります。	市民	健康支援課	噛むことの大切さや口腔の衛生等の普及啓発を行った。 実施日：平成22年5月30日　参加者延べ人数：3,848人	噛むことの大切さや口腔の衛生等の普及啓発を行った。 実施日：平成23年5月29日　参加者延べ人数：3,348人	a	平成24年5月27日にヘルシーカムカム2012を開催し、噛むことの大切さや口腔の衛生等の普及啓発を行い、市民の歯科保健意識の向上を図る。
21			乳幼児期の噛む力、飲み込む力の育成	乳幼児健康診査や2歳児むし歯予防教室、幼稚園等歯みがき指導などの各種歯科保健事業を通じ、乳幼児とその保護者に対し、歯科衛生士等が乳幼児の噛む力、飲み込む力の育成を支援します。	乳幼児 保護者	健康支援課 区健康課	口腔保健に関する情報提供を行った。 乳幼児健診及び母親＆父親学級　会場数：526回　参加者数：25,668人 乳幼児歯科相談　会場数：174回　参加者数：1,726人 2歳児むし歯予防教室　会場数：239回　参加者数：3,563人 幼稚園歯磨き指導　会場数：50回　参加者数：2,650人 その他健康教育等　会場数：103回　参加者数：2,648人	口腔保健に関する指導や情報提供を行った。 乳幼児健診及び母親＆父親学級　会場数：524回　参加者数：25,592人 乳幼児歯科相談　会場数：166回　参加者数：1,885人 2歳児むし歯予防教室　会場数：235回　参加者数：3,405人 幼稚園歯磨き指導　会場数：32回　参加者数：1,273人 その他健康教育等　会場数：73回　参加者数：1,820人	a	乳幼児健康診査や2歳児むし歯予防教室、幼稚園等歯みがき指導などの各種歯科保健事業を通じ、乳幼児とその保護者に対し、歯科衛生士等が乳幼児の噛む力、飲み込む力の育成を支援を行う。
22			口腔ケア事業	歯科医院において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行い、高齢者の口腔機能の向上を図ります。	高齢者	健康支援課 区健康課	特定高齢者を対象に歯科医院において口腔機能の評価及び必要な相談・指導を実施した。 参加者数：91人	二次予防事業対象者に歯科医院において口腔機能の評価及び必要な相談・指導を実施した。 参加者数：416人	a	二次予防事業対象者に歯科医院において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行い、口腔機能の向上をはかる。
23			妊産婦歯科健診	妊産婦に対し、妊娠中と産後に各1回歯科健診を実施し、口腔衛生の普及啓発及び歯科保健の意識向上を図ります。	妊産婦	健康支援課	妊婦歯科検診受診者数：2,469人（受診率：28.3%） 産婦歯科検診受診者数：1,465人(受診率：19.8%)	妊婦歯科健診受診者数：2,322人（受診率：27.5%） 産婦歯科健診受診者数：1,688人(受診率：21.1%)	a	妊産婦に対し、妊娠中と産後に各1回歯科健診を実施し、口腔衛生の普及啓発及び歯科保健の意識向上をはかる。
24			学校歯科事業	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図ります。	小学生 中学生	保健体育課	小学校113校・中学校53校及び特別支援学校2校において実施した。 （小学校2年生又は5年生・中学校は1～3年生の中から1学年を希望）	小学校112校・中学校54校及び特別支援学校2校において実施した。 （小学校2年生又は5年生・中学校は1～3年生の中から1学年を希望）	a	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図る。
25		（5）地域における「食」を学ぶ機会の充実	男性料理教室	男女共同参画センターや公民館において、男性を対象に、調理に関する知識や技術を習得するための講座を開催します。	市民（男性）	男女共同参画課	男性料理講座（4コース）と親子料理（2コース）を実施した。 男性料理講座参加者数：７０名　親子料理参加者数：３３名	男性料理講座（3コース、うち1コースは父と子）、 親子料理（1コース）を実施した。 また、イクメン養成講座（1コース）の中でも料理実習を行った。 男性料理講座参加者数：４７名　親子料理参加者数：２４名 イクメン養成講座参加者数：１２名	a	男性料理講座（3コース）を実施予定。
						公民館	「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施	「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施	b	「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施
26			食育サークルの育成	食生活改善推進員を中心とした、食育サークルの育成などを実施します。	市民	健康支援課 区健康課	食生活改善推進が行う地区伝達活動において、特定の団体に対して、継続的に支援を実施した。 団体数：12グループ　回数：89回	食生活改善推進員が行う地区伝達活動において、特定の団体に対して、継続的に支援を実施した。 団体数：9グループ　回数：74回	b	食生活改善推進員が行う地区伝達活動等において、食育サークルを継続的に支援する。
27			食生活改善推進員による地域組織活動	地区ボランティアとして活動する食生活改善推進員を養成し、親子料理教室や生活習慣病予防のための講習会等の地区組織活動を支援します。	市民	健康支援課 区健康課	千葉市保健所で食生活改善推進員の養成を行った。 修了者人数：47人 また食生活改善推進員（平成23年12月現在260人）が実施する地区伝達講習会を支援した。 会場数：487回　参加者数：14,079人 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載した。	緑保健福祉センターで食生活改善推進員の養成を行った。 修了者人数：28人 また食生活改善推進員（266人）が実施する地区伝達講習会を支援した。 会場数：469回　参加者数：13,062人 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載した。	a	食生活改善推進員養成講座は、美浜保健福祉センターで開催。 地区研修（食生活改善推進員の再教育）を各区健康課で行い、地区伝達活動講習会の支援を実施。
28			おとうさんのための料理教室	60歳以上の男性を対象に、基本的な栄養知識や調理技術を学ぶための料理教室の実施します。	市民（60歳以上男性）	健康支援課 区健康課	公民館等において、男性を対象にした料理教室を支援した。 会場数：41回　延べ参加者数：528人	公民館等において、男性を対象にした料理教室を支援した。 会場数：42回　延べ参加者数：514人	a	公民館等において、男性を対象にした料理教室を支援する。
29			公民館等での食育講座	地域の市民が利用しやすい、公民館・保健福祉センター等で親子料理教室　などの調理実習や食育講座を実施します。	市民	健康支援課 区健康課	保健福祉センター等で親子料理教室を実施した。 会場数：34回　参加者数：846人	保健福祉センター等で親子料理教室を実施した。 会場数：18回　参加者数：439人	a	公民館・保健福祉センター等で親子料理教室　などの調理実習や食育講座を実施。
						公民館	公民館で「子どもクリスマスケーキづくり教室」「太巻きずしづくり教室」などを実施	公民館で「子どもクリスマスケーキづくり教室」「太巻きずしづくり教室」などを実施	b	公民館で「子どもクリスマスケーキづくり教室」「太巻きずしづくり教室」などを実施
30			ときめきサタディ	千葉市内の小中学生の体験学習や異学年の交流を目的とした「ときめきサタディ」において、千葉市食生活改善推進員等による、お菓子作りや料理教室で健康な食生活に関する講座を開催します。	小学生 中学生	南部青少年ｾﾝﾀｰ（生涯学習振興課）	「お菓子作り教室」「親子おやつづくり」などを実施	南部青少年センターで 「シャーベットをつくろう」・・・２４名参加 「親子おやつづくり」・・・・・２４名参加 などを実施	a	南部青少年センターで 「シャーベットをつくろう」 「親子でハロウィンのお菓子づくり」 などを実施
31			わくわくカレッジ	青少年・一般市民の生活文化向上と健全な仲間作り、及び連帯感の高揚を図ることを目的とした「わくわくカレッジ」において、千葉市食生活改善推進員等による食に関する講座を開催します。	青少年 及び 一般市民	南部青少年ｾﾝﾀｰ（生涯学習振興課）	「魚料理入門」などを実施	南部青少年センターで 「男の和食」・・・・・２４名参加 「魚料理入門」・・・・・延４６名参加 などを実施	a	南部青少年センターで 「美味しい手作りピザとパン」 「魚料理入門」 などを実施
32		（6）食品関連事業者と携わった食育の推進	健康づくり応援店事業	飲食店等が外食、惣菜、仕出し弁当等に栄養成分表示をするとともに、ヘルシーメニュー、ヘルシーオーダー、健康づくりに係る情報提供、禁煙及び禁煙タイムに取り組めるよう支援します。	市民	健康支援課 食品安全課	応援店の取組状況について、「健康づくり支援マップ」やホームページに掲載した。 健康づくり応援店　店舗数：279	応援店の取組状況について、「健康づくり支援マップ」やホームページに掲載した。 健康づくり応援店　店舗数：284	a	飲食店等が栄養成分表示をするとともに、ヘルシーメニュー、ヘルシーオーダー、健康づくりに係る情報提供、禁煙及び禁煙タイムに取り組めるよう支援し、状況をホームページに掲載する。
33			給食施設指導	給食施設に対して栄養効果の十分な給食の実施、給食担当者の栄養に関する知識の向上及び食品の調理方法の改善などについての必要な援助及び指導を栄養指導員が実施し、喫食者の健康づくりを支援します。	給食施設	健康支援課 食品安全課	給食施設を巡回し、指導を行った。 給食施設数：452施設　巡回指導施設：181施設 研修会を行い、知識の向上をはかった。 会場数：10回　受講者：1,136人	給食施設を巡回し、指導を行った。 給食施設数：471施設　巡回指導施設：243施設 研修会を行い、知識の向上をはかった。 会場数：8回　受講者：1,002人	a	給食施設に対して栄養効果の十分な給食の実施、給食担当者の栄養に関する知識の向上及び食品の調理方法の改善などについての必要な援助及び指導を栄養指導員が実施し、喫食者の健康づくりを支援する。

千葉市食育推進計画　取り組み一覧表

【評価基準】a：計画通りに取り組んだ　b：実施し、ほぼ計画通りに取り組んだ　c：計画通りに取り組めなかった　d：事業終了

No	基本施策	市の取り組み	関連事業	内容	対象	所管	22年度実績	23年度実績	23年度評価	24年度実施予定
34		推進者等と連	プロから学ぶ親子料理教室	調理師会や食生活改善推進協議会と連携し、そば打ちやすしのにぎり方等を親子で体験できる教室を開催し、プロの調理師等から直接指導を受ける親子料理教室を推進します。	市民	健康支援課 区健康課	親子料理教室を実施した。 豆板さん教室(すし)　実施回数：1回　参加者数：42人 そば打ち教室　　実施回数：1回　参加者数：12人	親子料理教室を実施 豆板さん教室(すし)実施回数：1回　参加者数：35人 そば打ち教室　　実施回数：1回　参加者数：25人 スィーツ教室　　実施回数：1回　参加者数：34人	a	プロの調理師等から直接指導を受ける親子料理教室（すし、スィーツ）を実施
35	2　保育所（園）、幼稚園、学校等における食育の推進	（1）保育活動や教育活動を通じた食育の推進	食育計画の作成	「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう保育課程及び指導計画に位置付けられた食育の計画を作成します。	入所（園）児童 保護者	保育運営課	職員研修の中で、「保育所保育指針」と「保育所における食育に関する指針」から、食育計画を作成するための資料づくりを行い、参考様式を作成した。	前年度の研修で作成した「食育計画を作成するための資料」を活用し、各保育所で食育計画を作成し実践した。	b	「食育計画を作成するための資料」を活用し、各保育所に合った食育計画を作成し実践する。
36			保育を通じた食育活動	全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進します。	入所（園）児童 保護者	保育運営課	日々の生活や遊びの中で食に関する体験（楽しく食べる食事、栽培、調理体験等）を通し食育の推進及び職員研修や食育ホームページの充実を図った。	日々の生活や遊びの中で食に関する体験（楽しく食べる食事、栽培、調理体験等）を通し食育の推進及び職員研修や食育ホームページの充実を図った。	a	日々の生活や遊びの中で食に関する体験（楽しく食べる食事、栽培、調理体験等）を通し食育の推進及び職員研修や食育ホームページの充実を図る。
37			管理栄養士等による個別指導	管理栄養士等と看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギーへの対応、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施します。	入所（園）児童 保護者	保育運営課	離乳食や食物アレルギー等、子どもの状況に合わせて個別対応を行い、職員が子どもと一緒に食事をする中で、偏食やマナーについても改善が図れるように知らせている。	離乳食や食物アレルギー等、子どもの状況に合わせて個別対応を行い、職員が子どもと一緒に食事をする中で、偏食やマナーについても改善が図れるように知らせている。	a	離乳食や食物アレルギー等、子どもの状況に合わせて個別対応を行い、職員が子どもと一緒に食事をする中で、偏食やマナーについても改善が図れるように知らせる。
38			幼稚園における食育活動	野菜の栽培など、食に関する体験活動を実施して、食に関する興味・関心や食べ物を大切にする心と感謝の気持ちを育てます。お弁当や給食の時間を通じて、楽しい食事をするなど人格形成や生活習慣の基盤を築きます。	幼稚園児	こども企画課	各私立幼稚園で実施	各私立幼稚園で実施	b	各幼稚園で実施
39			食に関する指導	学級担任等は、栄養教諭・学校栄養職員と連携し、体育・保健体育科や家庭科をはじめとする各教科、特別活動等において教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや栄養や調理についての基礎的・基本的な知識や技能の習得、食文化等について指導します。	小学生 中学生	指導課	各学校の実態に合わせて年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行った。	各学校の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行った。	a	各学校の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行う。
						保健体育課	各学校の実態に合わせて作成した食に関する指導の全体計画および年間指導計画に基づき、発達段階に応じて学校給食を教材として活用しながら、食に関する指導を各教科等において実施している。	各学校の実態に合わせて作成した食に関する指導の全体計画および年間指導計画に基づき、発達段階に応じて学校給食を教材として活用しながら、食に関する指導を家庭科や生活科等の各教科において実施した。	a	各学校の実態に合わせて作成した食に関する指導の全体計画および年間指導計画に基づき、発達段階に応じて学校給食を教材として活用しながら、食に関する指導を各教科等において実施する。
40			食に関する指導の全体計画の作成	学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行うことが必要です。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した全体計画を作成します。	小学生 中学生	保健体育課		食に関する指導の全体計画作成の留意点を研修会で確認し、自校の全体計画作成を促すとともに、すでに作成しているものについては実態に即した計画になるよう見直しを指示した。	b	全体計画を作成していない学校に対しては、研修会等で作成を促すとともに、既に作成している学校については、内容確認等を行い、実態に即した計画になるよう指導を行う。
41			栄養教諭・学校栄養職員の個別指導	栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、偏食、肥満などについての個別の指導を実施します。	小学生 中学生	保健体育課	必要に応じて養護教諭と連携しながら、個別的な相談指導を推進している。	栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、偏食、肥満などについての個別の指導を実施した。	a	養護教諭と連携しながら、個別的な相談指導を推進する。
42		（2）指導体制の整備	職員研修の充実	保育所（園）における魅力ある効果的な食育の推進に向け、管理栄養士や保育士等の職員を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修を行います。	管理栄養士等 保育士等	保育運営課	給食担当者を中心に、衛生管理、食育についての研修を行い、保育士と栄養士が合同で「保育と連動した食育」をテーマに研修を行った。	給食担当者を中心に、衛生管理や食育についての研修、「保育と連動した食育」をテーマとした講演等を受け、所内研修を行った。	a	給食担当者を中心に、衛生管理や食育についての研修、「保育と連動した食育」をテーマとした講演等を受け、所内研修を行い実践に活かす。
				栄養教諭・学校栄養職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修を行います。	学校栄養職員 給食指導主任等	保健体育課		栄養教諭・学校栄養職員対象に、学校栄養職員等全体研修会、研究協議会、 規模別研修会を開催し、栄養士の資質向上に努めた。 また、給食指導主任対象に、実践報告をもとにした食に関する指導について研修を実施した。	a	栄養教諭・学校栄養職員を対象とした研修を実施するほか、給食指導主任を対象とした研修会を開催する。
43		（3）給食を通した食育の充実	特色ある保育所（園）給食	旬の食材を取り入れ栄養バランスのとれた献立を作成し、発達段階に応じた食事形態の給食を実施するとともに、一人ひとりに合った援助をします。 食に関する調査を実施して、子どもの現状を把握し、献立内容の充実及び望ましい食習慣を身につけるようにします。	入所（園）児童	保育運営課	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて栄養士が献立を作成し、発達段階に応じた食事の提供を行っている。	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて栄養士が献立を作成し、発達段階に応じた食事の提供を行っている。	a	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて栄養士が献立を作成し、発達段階に応じた食事の提供を行う。
44			特色ある学校給食	交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、各学校ごとに特色ある給食を実施します。	小学生 中学生	保健体育課	学校栄養職員等の研修会において特色ある給食形態の実践報告を行い、実施にあたっての留意点等を確認し、各学校の実態に合わせた取り組みを推進している。	学校栄養職員等の研修会において特色ある給食形態の実践報告を行い、実施にあたっての留意点等を確認し、各学校の実態に合わせた取り組みを推進した。	a	学校栄養職員等の研修会において特色ある給食形態の実践報告を行い、実施にあたっての留意点等を確認し、各学校の実態に合わせた取り組みを推進する。
45			地元農産物を導入した学校給食の実施	新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日や市民の日（10月18日）などに、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。	小学生 中学生	保健体育課	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年5回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。（全8回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用。中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ホウレンソウ、ダイコンなどを利用した。	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用。中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ホウレンソウ、ダイコンなどを利用した。	a	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進する。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進する。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ホウレンソウ、ダイコンなどを利用する。
						農政課			a	
46		（4）農業体験や食品の調理などの体験活動の推進	栽培・収穫体験	乳幼児が栽培・収穫活動を体験し、野菜を見たり育てたりする喜びを実感することで「食」への興味を育てます。	入所（園）児童	保育運営課	栽培・収穫した野菜等は、可能な限り当日に調理をして子どもに提供している。	栽培・収穫活動を通し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てる。	b	栽培・収穫活動を通し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てる。
47			クッキング保育（調理体験）	食材に目を向け、自分でかかわった料理を食べる楽しさやうれしさを体験し、調理することに関心をもつようにします。	入所（園）児童	保育運営課	皮むき等食事づくりに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。	皮むき等食事づくりに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。	b	皮むき等食事づくりに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。
48			農業体験	農業体験等を通して、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深められるようにします。	小学生 中学生	指導課	各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行った。	各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行った。	a	各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行う。
49			小学生の農山村留学事業	現地校との交流・地域の家庭へのホームステイ・自然体験・登山・炭焼き・野菜の収穫・樹木の伐採、枝打ち等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫などの農作業を行ったり、その地域の郷土料理を作ったりしながら、豊かな心をはぐくみます。	小学生	指導課	8月20日から24日まで4泊5日で23校の小学6年生1,025名が長野県の農山村留学に参加した。97校の小学6年生7,842人が千葉県内の宿泊施設を利用した農山村留学に参加した。それぞれの体験活動の趣旨に基づき、子どもたちの自主性、創造性等の伸長を図った。	8月19日から23日まで4泊5日で23校の小学6年生1,035人が長野県の農山村留学に参加した。94校の小学6年生7,900人が千葉県内の宿泊施設を利用した農山村留学に参加した。それぞれの体験活動の趣旨に基づき、子どもたちの自主性、創造性等の伸長を図った。	a	8月24日から28日まで4泊5日で23校の小学6年生1,193人が長野県の農山村留学に参加予定である。93校の小学6年生が千葉県内の宿泊施設を利用した農山村留学に参加予定である。それぞれの体験活動の趣旨に基づき、子どもたちの自主性、創造性等の伸長を図ろうとしている。
50		（5）保護者への普及啓	給食の展示	給食について親子で会話し、食に関心を持ってもらうことや、子どもが食べる食事量のめやすになるよう、保育所（園）で給食を展示し、作り方等を紹介します。	入所（園）児童 保護者	保育運営課	夏の時期は、写真やデジタルフォトフレーム等を利用し、年間を通して食事内容の展示を行っている。展示コーナーを利用してレシピの配付や使用食材の展示等も行っている。	夏の時期は、写真やデジタルフォトフレーム等を利用し、年間を通して食事内容の展示を行っている。展示コーナーを利用してレシピの配付や使用食材の展示等も行っている。	a	年間を通して食事内容の展示ができるように工夫する。レシピや掲示物等、展示コーナーの内容についても工夫していく。
51			ホームページでの情報提供	食育ホームページ“おいしい！元気！ちばキッズ”で、離乳食・幼児食のレシピや保育所での食育活動の様子などの情報を発信します。	市民	保育運営課	まごわやさしいのレシピ紹介、保育所での食育活動の紹介、子どもの食事Q＆Aについて更新をしている。	千産千消のレシピ紹介、保育所での食育活動の紹介、子どもの食事Q＆Aについて更新をした。	a	子どもに人気のある保育所の献立（お家でも食べたいメニュー）のレシピ紹介、保育所での食育活動の紹介、子どもの食事Q＆A（箸・スプーンの持ち方）について更新をする。
52			食育だよりなどを通	お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役		保育運営課	生活リズムや朝食の大切さ、簡単に作れる朝食メニュー、食中毒予防等、食に関する情報提供を行っている。	生活リズムや朝食の大切さ、食中毒予防等に加え、非常食等についての情報提供を行った。	b	水分補給についてや昨年度の食事調査結果から、家庭であまり食べられていない乳製品等についての情報提供をしていく。

千葉市食育推進計画　取り組み一覧表

【評価基準】a：計画通りに取り組んだ　b：実施し、ほぼ計画通りに取り組んだ　c：計画通りに取り組めなかった　d：事業終了

No	基本施策	市の取り組み	関連事業	内容	対象	所管	22年度実績	23年度実績	23年度評価	24年度実施予定
52		発・地域との連携	じた情報提供	立つ情報のPRを行います。	保護者	保健体育課	給食だよりや特別メニュー等を家庭に配布したり、給食試食会等において情報提供を行っている。	各学校においては、給食だより等に特別メニューのレシピなどを掲載したほか、給食試食会等において健全な食生活に役立つ情報提供を行った。	a	給食だよりや給食試食会等を活用して情報提供を行う。
53			家庭配布献立表を活用した情報提供	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。	保護者	保育運営課	毎月配付する献立表に食材について紹介するミニコラム、19日の食育の日の献立からレシピ紹介をしている。	毎月保護者に配付する献立表に、「旬の食材」を紹介するミニコラム、19日の食育の日に「旬の食材を使った献立」を取り入れ、レシピ紹介をした。	a	毎月保護者に配付する献立表に、食に関するミニコラム、19日の食育の日の献立のレシピ紹介をする。
						保健体育課	上記同様、給食だよりや特別メニュー等を家庭に配布するにあたって、食育に関する情報提供を行っている。	給食だよりや特別メニュー等を家庭に配布するにあたって、食育に関する情報提供を行った。	a	給食だよりや給食試食会等を活用して情報提供を行う。
54	3　地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	（1）市内産農畜産物への理解の促進	千葉市産農産物生産者認証制度	土壌診断の定期的な実施、農薬の適正使用の遵守、生産履歴の記帳、堆肥の利用等、市独自の基準を満たした生産者を認証します。	農業者	農政課	市内産農産物生産者認証者数　158名。	市内産農産物生産者認証者数　168名。	a	市内産農産物生産者認証者数　170名。
55			市内産農産物の認知度の向上	市民公募・市民投票で決定した「地産地消シンボルマーク」を千葉市産農産物生産者認証制度の認証マークとして活用し、市内産農産物の認知度を高めます。	市民	農政課	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努めた。	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努めた。	a	地産地消推進キャンペーンとして実施した各種イベント等において、「千葉市産農産物生産者認証制度」及び「地産地消シンボルマーク」をPRし、市内産農産物の認知度の向上に努める。
56			市内産農産物等のブランド化の推進	農産物や農産物を利用した加工品のブランド化を推進するための調査研究や農政センターを活用した品目選定及びバイオテクノロジーを活用したオリジナル品種の育成に取り組みます。	農業者	農業生産振興課	ブランド化の可能性がある品種等について、試験栽培等を行った。	茹でラッカセイ用品種「オオマサリ」の栽培試験を行うとともに、バイオテクノロジーを活用した「ミニカトレア」の新品種育成及び「カンゾウ」の増殖方法の検討を行った。	b	引き続き「オオマサリ」の栽培試験を行うとともに、「カンゾウ」及び「ニンニク」の栽培試験を行う。また、「ミニカトレア」の新品種育成及び、ニンニクのウイルスフリー化に取り組む。
57			生産者による出張授業	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。	小学生	農政課 保健体育課	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。 参加児童数：409人 6月　春夏ニンジン　稲丘小学校 7月　スイカ　大森小学校 11月　キャベツ　瑞穂小学校 1月　秋冬ニンジンみつわ台南小学校	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。 参加児童数：255名 6月　春夏ニンジン　大巌寺小学校（43名） 7月　スイカ　柏台小学校　（41名） 11月　キャベツ　高洲第四小学校（46名） 1月　秋冬ニンジン　金沢小学校（125名）	a	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施する。 6月　春夏ニンジン 7月　スイカ 11月　キャベツ 1月　秋冬ニンジン
58		（2）地産地消の推進	千葉市地産地消推進連絡会議の実施	市内産農産物の安定的な生産と供給、生産者と消費者の交流促進、食や農に関する情報収集・提供など地産地消の推進に取り組みます。	生産者 農業団体 消費者団体 流通関係者	農政課	地産地消推進連絡会議の開催を予定したが、震災により中止となったため、文書での情報交換とした。	特段の議題が無かったことから、「情報提供一覧」の送付をもって会議の開催とした。	a	開催予定
59			地産地消キャンペーンの開催	新鮮で安全安心な農産物を、より多くの市民にPRし、「食」や「農」に対する関心を高めるために、各種イベント会場や販売店等で千葉市の農業の紹介や農産物の展示即売キャンペーンを開催します。	市民	農政課	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施した。 ①「食育のつどい」 ②「麻布十番納涼まつり」 ③千葉ロッテマリーンズ市民応援「千葉市スペシャルデー」 ④「第4回消費者モニター講座」 ⑤「千葉市女性センター時事講座」 ⑥「千葉地域婦人団体連絡協議会文化祭」 ⑦「地元野菜の体験収穫祭」JA千葉みらい幕張支店 ⑧JA千葉みらい農産物直売所「しょいかーご」5周年記念大感謝祭 他に朝市を実施　（月1回美浜区役所、稲毛区役所）	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施した。 ①「食育のつどい」 ②千葉市学校栄養士会学習会 ③千葉ロッテマリーンズ市民応援「千葉市スペシャルデー」 ④オークラ千葉ホテル開業10周年記念イベント ⑤「千葉地域婦人団体連絡協議会文化祭」 ⑥「地元野菜の体験収穫祭」JA千葉みらい幕張支店 ⑦地場農産物の展示販売（誉田パーキングエリア） ⑧JA千葉みらい農産物直売所「しょいかーご」6周年記念大感謝祭 他に朝市を実施　（月1回美浜区役所、稲毛区役所、花見川区役所）	a	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施する。 ①いま市 ②金曜ふれあい市 ③地場農産物の展示販売（誉田パーキングエリア） ④「食育のつどい」 ⑤千葉ロッテマリーンズ市民応援「千葉市スペシャルデー」 ⑥動物公園夏まつり ⑦「千葉地域婦人団体連絡協議会文化祭」 ⑧JFEまつり ⑨JA千葉みらい農産物直売所「しょいかーご」7周年記念大感謝祭 他に朝市を実施　（月1回美浜区役所、稲毛区役所、花見川区役所）
60			市内産農産物の販売促進	市民に市内産農産物を購入してもらうため、直売所や観光農園でのもぎ取りなどのほか、スーパー等の販売店での市内産農産物販売コーナーの設置を推進します。	生産者 農業団体 流通関係者	農政課	観光農園18か所 市内産農畜産物取扱店舗数：44か所	観光農園22か所 市内産農畜産物取扱店舗数：61か所	a	観光農園23か所 市内産農畜産物取扱店舗数：62か所
61			地産地消の情報提供	直売所や観光農園の紹介など地産地消に関する様々な情報をホームページ等を活用して提供します。	市民	農政課	地産地消ホームページを拡充、更新し、千葉市産農産物の情報を消費者に発信した。	地産地消ホームページを拡充、更新し、千葉市産農産物の情報を消費者に発信した。	a	地産地消ホームページを拡充、更新し、千葉市産農産物の情報を消費者に発信する。
62			旬の野菜の紹介・料理レシピの提供	市内産農産物の旬を紹介するとともに、それらを利用した、おいしくて手軽な料理レシピの提供や調理実演会などにより、市内産農産物のPRに努めます。	市民	農政課	地産地消ホームページにおいて、旬の市内産農産物を紹介するとともに、料理レシピ等の情報を発信した。	地産地消ホームページにおいて、旬の市内産農産物を紹介するとともに、料理レシピ等の情報を発信した。	a	地産地消ホームページにおいて、旬の市内産農産物を紹介するとともに、料理レシピ等の情報を発信する。
63			給食への市内産農産物の導入	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。	小学生 中学生等	農政課 保健体育課	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年5回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。（全8回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用。中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ホウレンソウ、ダイコンなどを利用した。	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用。中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ホウレンソウ、ダイコンなどを利用した。	a	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進する。 小学校・特別支援学校では、年間3回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進する。（全9回） 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジン、バレイショ、ホウレンソウ、ダイコンなどを利用する。
64		（3）生産者と消費者との交流と体験活動の促進	高齢者いきいき健康園芸	高齢者が、豊かな自然とふれあいながら、農家の指導のもと野菜や花を栽培するなど園芸を楽しむことにより、生きがいと健康の増進を図ります。	高齢者	高齢福祉課	中央区・花見川区・若葉区の3会場で実施した。 定員200名に対して応募倍率は1.66倍〔1.68倍〕で、最終参加者は189名であった。 トウモロコシ、大根、ニンジン、さつまいも、ジャガイモ、里芋などを栽培・収穫した。	中央区・花見川区・若葉区の3会場で実施した。 定員200名に対して応募倍率は1.68倍で、最終参加者は190名であった。 トウモロコシ、大根、ニンジン、さつまいも、ジャガイモ、里芋などを栽培・収穫した。	a	中央区・花見川区・若葉区の3会場で計画している。 各会場合計200名の定員を予定しており、トウモロコシ、大根、ニンジン、さつまいも、ジャガイモ、里芋などを栽培・収穫することを計画している。
65			ふるさと農園事業	農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいの場を提供します。	来園者	農業経営支援課	農業体験教室等受講者数　2，201人	農業体験教室等受講者数　1，767人	a	農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいの場を提供します。
66			市民農園・観光農園等の整備と利用促進	生産から収穫まで、気軽に市民が農業に接することができる場として、市民農園・観光農園等の整備を推進します。	市民	農政課	市民農園28か所、観光農園18か所の情報を提供した。	市民農園29か所、観光農園22か所の情報を提供した。	a	市民農園29か所、観光農園23か所の情報を提供する。
67			家庭料理教室	公民館等において、中央卸売市場で取引された食材を使った料理教室を開催します。	市民	中央卸売市場業務課	中央卸売市場において梅干しのつけ方講習会を開催した。 実施日：平成22年6月 中央コミュニティーセンターにおいて「料理教室」を開催した。 実施日：平成23年2月	実施なし 平成22年度で事業廃止。	d	実施なし

千葉市食育推進計画　取り組み一覧表

【評価基準】a：計画通りに取り組んだ　b：実施し、ほぼ計画通りに取り組んだ　c：計画通りに取り組めなかった　d：事業終了

No	基本施策	市の取り組み	関連事業	内容	対象	所管	22年度実績	23年度実績	23年度評価	24年度実施予定
68		（4）地元でとれる農畜産物を活かした料理の普及	郷土料理の普及啓発	ホームページや食生活改善推進員の地区組織活動を利用し、地元で生産される食材を活かした料理の普及を図ります。また、伝統料理や郷土料理の掘り起こしと普及啓発を推進します。	市民	健康支援課	「太巻き寿司を作ろう」バラの花やたれパンダ、ちはなちゃんなど5種類の作り方をホームページに掲載した。 　また、地区伝達活動(小学校や中学校の活動を含む)において、普及を図った。	「太巻き寿司を作ろう」バラの花やたれパンダ、ちはなちゃんなど5種類の作り方をホームページに掲載した。 　また、地区伝達活動(小学校や中学校の活動を含む)において、普及を図った。	a	ホームページや食生活改善推進員の地区組織活動を利用し、地元で生産される食材を活かした料理の普及を図り、推進をする予定
69			下田農業ふれあい館（下田都市農業交流センター）	地元で生産された新鮮で安全安心な農産物などの販売や、地元農産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図ります。	市民	農業経営支援課	利用者数　農産物直売所　73，081人 　　レストラン　　12，460人 　　合　　計　　85，541人 ＊レジ通過者数で算出	利用者数　農産物直売所　72，364人 　　レストラン　　12，659人 　　合　　計　　85，023人 ＊レジ通過者数で算出	a	地元で生産された新鮮で安全安心な農産物などの販売や、地元農産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図ります。
70			米の消費拡大推進事業	米の消費拡大宣伝として料理講習会や「房総太巻き寿司」「おにぎり教室」を通じて、米の消費拡大を行います。	市民	農政課	市民向けに「米粉活用料理講習会」「房総の太巻き寿司料理講習会」を実施し、幼稚園児向けに「おにぎり教室」を実施した。	市民向けに「米粉活用料理講習会」「房総の太巻き寿司料理講習会」を実施し、幼稚園児向けに「おにぎり教室」を実施した。	a	米の消費拡大のため「米消費拡大宣伝」や「米料理講習会等」を実施する。
71	3　地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	（5）環境にやさしい食育の推進	エコ料理の普及啓発	環境を考えた「買い物」「料理」「片付け」を通し、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及を推進します。	市民	健康支援課 区健康課		東京ガスの講師を招いて健康支援課・健康課職員等を対象にエコ・クッキングを実施した。 　実施日：平成23年8月8日 ※「エコ・クッキング」は東京ガス（株）の登録商標	b	エコ料理に留意しながら、地区伝達活動を実施の予定
						廃棄物対策課		料理講習会　5回開催　計78人参加	b	料理講習会　5回開催　計108人募集予定
72			ちばルールの普及・拡大	ごみ減量のための「ちばルール」の普及、定着に向け、「ちばルール」協定店の拡充などに取り組みます。	市民 販売事業者	廃棄物対策課	・マイバッグキャンペーン実施（11月15日～翌1月15日、協力店196店舗） 　H23.1.17応募総数33,656枚　※平成22年度をもって廃止しています。 ・「ちばルール」協定店拡充のため、関係団体との検討会開催 　協定店数：104協定228店舗	・「ちばルール」協定店拡充のため、関係団体との検討会開催 　協定店数：112協定243店舗	b	ちばルール協定店の拡大に向け、千葉市商店街連合会との連携協定を進めるとともに、同協定締結後、個別商店街とのちばルール行動協定締結を進めていく。 　また、既存協定店の取り組みを広く市民に周知PRしていく。
73			3R教育・学習の推進	幼児用・小学校低学年用のリサイクル教育図書や、ごみの分別方法や再資源化について体験学習する「ごみ分別スクール」において、食べ物を大切にすることを伝えます。	幼児 小学生 保護者	廃棄物対策課	・ごみ分別スクールを全市立小学校及び千葉大附属小学校、[123校　8,930人]で実施した。	・ごみ分別スクールを全市立小学校及び千葉大附属小学校、[118校　8,937人]で実施した。	a	・ごみ分別スクールを全市立小学校及び千葉大附属小学校、[117校]で実施。
74			生ごみの減量・再資源化の推進	生ごみ減量処理機や肥料化容器の普及、生ごみの再資源化（メタンガス化等）の促進など、食べ残しや廃棄により発生する生ごみの削減や再資源化に効果的な取り組みを推進します。	市民	廃棄物対策課	・生ごみ減量処理機等626基分の購入費の助成を行った。	・生ごみ減量処理機等468基分の購入費の助成を行った。	c	・生ごみ減量処理機等1,084基分の購入費の助成を行う。
					食生活改善推進員			健康課の地区研修（食生活改善推進員の再教育）において、「生ごみ減量大作戦」のPRを受講した。 　会場数：6回　　参加者数：205人		
75			生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣	生ごみ資源化アドバイザーを養成・派遣して、効果的な資源化へのお手伝いを推進します。	市民	廃棄物対策課	フォローアップ研修　　1回 登録人数　　77人 派遣回数　　9回	養成講座　　1回 登録人数　67人 派遣回数　　6回	b	養成講座　　1回 派遣講座　12回
76			環境保全型農業の推進	農業の環境への負荷を軽減するため、農薬や化学肥料を削減した環境保全型農業を推進します。	農業者	農業生産振興課	土づくりと適正な施肥のための土壌診断1,178件 各種講習会や生産者宛の通知により、農薬の適正使用の周知を図った。	土づくりと適正な施肥のための土壌診断1,291件 各種講習会や生産者宛の通知により、農薬の適正使用の周知を図った。	b	土壌診断　　1,300件
77	4　食の安全・安心	（1）食品の安全性	食の安全に関する講演会・意見交換会	暮らしのプラザ等で、食の安全等に関する講演会や消費生活講座等を開催し、食の安全・安心の確保方法等に消費者に知識の普及や情報を提供します。	市民	消費生活センター	農政センターにおいて食に関する講義を受け、同日生産者の圃場を訪れ意見交換会を開催し知識の普及を図った。 　実施日：平成22年10月19日 食に関する講座・講演会を実施した。 ・テーマ：「食の安全～学校給食で実践した食育と食の安全～」 　実施日：平成22年1月18日 ・テーマ「食の講演会　神津家の食卓」 　実施日：平成22年3月5日	食に関する講座・講演会を実施した。 消費者モニター講座 ・テーマ：「知っていますか、食品の表示？」 　実施日　平成23年12月19日 調理実習 ・テーマ：「食材の特性を活かして！簡単・実践家庭料理」 　実施日　平成24年1月28日	a	食に関する講座・講演会を実施する。 ・テーマ：「子どもを元気にする給食パワーのひみつ」 　実施予定日：平成24年10月24日
				食中毒や食品衛生に関する講演会や意見交換会を開催し、知識の普及に努めます。	市民 食品営業者	生活衛生課	「食の安全に関する講演会・意見交換会」を実施した。 　実施日：平成23年2月1日　　会場：総合保健医療センター 　参加者数：89名	○食の安全に関する講演会・意見交換会を実施 　・実施日：平成24年1月30日 　・場　所：千葉市総合保健医療センター5階大会議室 　・講演名：「食品中の放射性物質と低線量放射線による健康影響」 　・講　師：国立保健医療科学院 　　櫟田　尚樹（くぬぎたなおき） 　・参加者：102名 ○平成24年度千葉市食品衛生監視指導計画に係るパブリックコメントの実施 　・期間：1月4日～2月3日 　・意見：4名から19件	a	○食の安全に関する講演会及び平成25年度千葉市食品衛生監視指導計画に対する意見交換会の実施 　平成25年1月頃 ○平成25年度千葉市食品衛生監視指導計画に係るパブリックコメントの実施 　平成25年1月～2月
78			「暮らしの情報いずみ」等による情報提供	「暮らしの情報いずみ」を発行するとともに、暮らしのプラザ内に食の安全等に関するパンフレット、各種雑誌、図書、ビデオ等を配置し、情報提供します。	市民	消費生活センター	・「暮らしの情報いずみ」で食に関する相談事例を紹介し情報提供を行った。 （発行部数：7,000部、配置箇所:93箇所） ・食に関するパンフレット等を暮らしのプラザ内に配置するとともに、暮らしのプラザで実施した講座の受講生に配布した。	・「暮らしの情報いずみ」で食に関する相談事例を紹介し情報提供を行った。 （発行部数：7,000部、配置箇所:105箇所） ・食に関するパンフレット等を暮らしのプラザ内に配置するとともに、暮らしのプラザで実施した講座の受講生に配布した。	a	・「暮らしの情報いずみ」で食に関する相談事例を紹介し情報提供を行う。 （発行部数：7,000部、配置箇所:105箇所） ・食に関するパンフレット等を暮らしのプラザ内に配置するとともに、暮らしのプラザで実施した講座の受講生に配布する。
						消費生活センター	食の安全性確保に関する情報について、生活衛生課のホームページにリンクし情報を提供した。	食の安全性確保に関する情報について、生活衛生課のホームページにリンクし情報を提供した。	a	食の安全性確保に関する情報について、生活衛生課のホームページにリンクし情報を提供する。

千葉市食育推進計画　取り組み一覧表

【評価基準】a：計画通りに取り組んだ　b：実施し、ほぼ計画通りに取り組んだ　c：計画通りに取り組めなかった　d：事業終了

No	基本施策	市の取り組み	関連事業	内容	対象	所管	22年度実績	23年度実績	23年度評価	24年度実施予定
79	4　食の安全・安心に関する情報の提供	（1）食品の安全性に関する情報の提供	ホームページによる食品の安全に関する情報提供	食の安全性に関する情報をホームページにより提供します。	市民	生活衛生課	・食品衛生法違反者等の公表を実施した。 ・食中毒注意報および警報の発令・周知を行った。 ・キノコの食中毒について注意喚起を行った。	○食品衛生に関する情報を、以下のとおり提供 ①食品の放射性物質に関する情報 ・食品の放射性物質検査結果 ・汚染牛肉の流通結果 ②食品衛生法違反者の公表　8回(すべて食中毒事件) ③食品の自主回収に係る情報　3回 ④食品衛生に係る最新情報　8回 ・コチニール色素を含む食品によるアレルギー ・有毒植物による食中毒予防 ・食品中の放射性物質の規格基準の設定 ・ボツリヌス毒素が検出された食品の回収 ・バターバー(西洋フキ)を含む食品の取扱い ・生食用食肉に係る規格基準及び表示基準 ・野生キノコから放射性物質が検出された件 ・食肉の生食や加熱不足に注意しましょう ⑤監視指導関係 ・パブリックコメントの募集(監視指導計画の策定) ・監視指導計画の実施結果(概要版、詳細版) ・食中毒注意報・警報の発令(食中毒注意報(7/11～9/30) 食中毒警報(7/15～9/30)) ・食中毒予防パレードの実施	a	○23年度に引き続き以下の項目等を情報提供 ①食品の放射性物質関係情報 ②食品衛生法違反者の公表 ③食品の自主回収に係る情報 ④食品衛生に係る最新情報 ⑤監視指導関係
80			食品衛生監視指導計画の策定・公表	食品等の生産、製造、流通の状況、食品衛生上の問題や食中毒の発生状況を考慮して、保健所が実施する食品営業施設等の立入検査や食品、添加物等の試験検査のほか、食品衛生の確保に努めます。	食品営業施設など	生活衛生課	・食品衛生監視指導計画に基づき監視指導及び検査を実施 監視指導件数　要許可施設　10,612件 不要許可施設　13,120件 検査数　検体数　721検体 項目数　20,240項目 ・結果について、市ホームページへ掲載。	○食品衛生監視指導計画に基づき監視指導及び検査を実施 ・監視指導件数　要許可施設　10,326件 不要許可施設　13,199件 ・検査数　検体数　977検体 項目数　21,316項目 ○監視指導計画や結果をホームページで公表。(再掲) ・パブリックコメントの募集(監視指導計画の策定) ・監視指導計画の実施結果(概要版、詳細版)	a	○食品衛生監視指導計画に基づく監視指導及び検査の実施 ○監視指導結果のホームページによる公表
81			衛生講習会の実施	食品営業者等に対する衛生教育と啓発事業を実施し、食中毒等の発生防止に努めます。	食品営業施設など	生活衛生課	営業者等対象の衛生講習会の実施　65回 3,129名	○衛生講習会の実施　64回　3,117名 ・営業者対象の衛生講習会の実施　45回　2,148名 ・消費者等対象の衛生講習会の実施　19回　969名 （うち千葉市政出前講座　7回　257名）	a	○営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施
82			食中毒予防パレード等による食品衛生の普及啓発	市政だより、懸垂幕、パンフレット、広報車による広報活動を始め、他の部局等で実施される講習会等さまざまな機会を通じ、消費者教育・啓発に努めます。	市民	生活衛生課	・市政だよりへ、食品衛生夏期対策期間等を掲載。 ・懸垂幕及び立て看板の掲示 食品、添加物等の夏期一斉取締り 食品、添加物等の年末一斉取締り ・広報車による広報活動(8月5日　食中毒パレード) ・消費者対象の衛生講習会の実施　26回　922名 （うち千葉市政出前講座　15回　676名）	○市政だより、懸垂幕、パンフレット、広報車による広報活動等の消費者教育・啓発を実施 ・市政だよりへ、食品衛生夏期対策期間等を掲載 ・懸垂幕の掲示 食品、添加物等の夏期一斉取締り 食品、添加物等の年末一斉取締り ・広報車による広報活動(8月4日　食中毒パレード) ・消費者対象の衛生講習会の実施(再掲)　19回　969名 （うち千葉市政出前講座　7回　257名）	a	○市政だよりへ、食品衛生夏期対策期間等を掲載 ○懸垂幕の掲示 ・食品、添加物等の夏期一斉取締り ・食品、添加物等の年末一斉取締り ○広報車による広報活動(食中毒予防パレード) ○消費者対象の衛生講習会の実施
83			食品衛生推進員による自主管理体制の促進	食品衛生推進員が食品関係団体等への自主管理体制を促進します。	食品関係団体等	生活衛生課	食品衛生推進員に、食品営業施設等の巡回指導を実施させ、食品関係団体等における自主管理体制の促進に努めた。 延べ人数　125名 延べ自主管理指導施設数　2,353施設	○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導 ・延べ人数　102名 ・延べ自主管理指導施設数　1,855施設	a	○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導
84	5　食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立	（1）食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立 （2）関係機関・団体等と食育推進に関わる人材の育成・支援 （3）	食育のつどい	毎年6月に「食育のつどい」を開催します。講演会や関係機関・団体と連携した食育ブースの展示を実施します。	市民・関係機関・団体等	健康支援課	実演つき講演会「ちゃんと食べて、ちゃんと生きる ～電子レンジで早・うま・簡単クッキング～」 料理研究家　村上祥子氏 実施日：平成22年6月4日 参加者数：　430人	講演会「食育こそ、自律と自立の要」 昭和女子大学大学院教授　渡辺満利子氏 実施日：平成23年6月22日 参加者数：290人	a	6月の食育月間に関係機関・団体と連携した「食育のつどい」をイオンタウンおゆみ野で実施
85			市民健康づくり大会	体育の日から始まる一週間の「市民健康づくり週間」に、健康づくり運動の推進団体と連携して、栄養・食生活などをテーマに市民健康づくり大会を開催します。	市民	健康支援課	きぼーるにて健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催 実施日：平成22年10月16日 参加団体：25団体 入場者数：1,856人（延べ5,361人）	きぼーるにて健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催 実施日：平成23年10月15日 参加団体：25団体 入場者数：1,889人（延べ5,502人）	a	体育の日から始まる一週間の「市民健康づくり週間」に、アルコールをテーマに健康づくり運動の推進団体と連携して、きぼーるにて「市民健康づくり大会」を平成24年10月13日に開催
86			食育総合ホームページの設置	食と健康、学校・保育所(園)等取り組み、食の安全、地産地消など、市や関係機関・団体等の食育に関する総合的な情報を提供するホームページを設置します。	市民	健康支援課	保育運営課で「おいしい！元気！ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ　ようこそ！地産地消推進ページ」、健康支援課で「食べ育っち」などの食育に関するホームページを開設している。	保育運営課で「おいしい！元気！ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ　ようこそ！地産地消推進ページ」、健康支援課で「食べ育っち」などの食育に関するホームページを開設している。	c	食と健康、学校・保育所(園)等取り組み、食の安全、地産地消など、市や関係機関・団体等の食育に関する総合的な情報を提供するホームページを設置する
87			栄養・食生活改善連絡会	市民の食生活(「家庭食」「中食・外食」「給食」)を担う関係団体(調理師会、食生活改善協議会、食品衛生協会、栄養士会等)が連携します。	関係団体	健康支援課	平成23年3月に実施予定であったが、東日本大震災により中止。	未実施	c	千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会等で連携を深める。
88			地域食生活連絡会	保育所(園)、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催します。食育の取り組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。 今後、幼稚園の参加を働きかけます。	保育所(園)栄養士等・学校栄養職員・健康課管理栄養士と食生活改善推進員等	健康支援課区健康課	各健康課において年1～2回開催。 保育所給食における栄養アセスメントの報告、小学校委託給食の報告やヘルスメイトの活動報告、食育の推進に向けてのグループワークなどを実施している。 幼稚園に案内を送付し、参加を促しているが、参加する園は少ない。	各区健康課において年1～2回開催。 事例発表やグループワークを実施。区により、出席率に差が見られた。	b	保育所(園)、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。 食育の取り組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行う。
						保育運営課		各区ごとに開催される「地域食生活連絡会議」において、食育推進に向けての情報交換等を行った。	a	
						保健体育課		地域食生活連絡会では母子保健の最新情報や食育の事例紹介、保育所小学校の取り組みの報告、ヘルスメイトの活動内容紹介、食育のあり方等についてのグループ協議を実施した。	b	